



平成 23 年 4 月 8 日

日本ハリストス正教会教団
管轄司祭 及び 教会 各位

日本ハリストス正教会教団
仙台の主教 セラフィム



第 4 回東日本大震災の現状報告

主の御名によりてご平安をお祈りいたします。

地震発生から約 1 ヶ月になろうとしておりますが、未だ余震が続き、昨晚 (4/7) は震度 6 強という地震がありました。これまでの被害がさらに拡大し、深刻な状況になった教会もあります。今日現在までに判明したことをご報告いたします。

(1) 金成正教会

倒壊の危険性を指摘されていた聖堂は 4 月 7 日の地震により、さらに深刻な被害となる。クーポルの十字架が折れ、内部の漆喰壁が大幅に剥落。基礎石部分の亀裂が拡大し、さらに倒壊の危険性が増した。石垣部分も一部崩落。信徒会館も天井が落ちたり、壁に亀裂が多数生じた。信徒住宅が 4 月 7 日の地震により、数戸大きな損傷を受ける。

(2) 気仙沼正教会

信徒 2 家族は避難所から親戚宅と教会信徒会館に移り居住。両家とも店舗全壊、家屋も壊滅状態で再開業は全く目途が立たない状態。

(3) 盛正教会

大船渡地区に住む信者宅 2 戸と事務所 1 ヶ所津波により消失。信者宅も数戸が半壊状態。信徒家庭の未洗者 1 名 (佐藤永伍) は未だ行方不明。

(4) 山田正教会

4 月 6 日、現地視察。信者たちと会堂跡で会うが、未だ行方不明者 1 名 (横田信子)。会堂跡地から焼けた聖器物を数点発見。信徒家屋・店舗の全半壊多数。町内のほとんどが焼失したために、信者のほとんどが生活基盤を失う。

(5) 仙台正教会

信徒家庭の未洗者 1 名 (山本道子) は未だ行方不明。3 週間の間何度重なる余震で、会館内のひびや亀裂が拡大。一部壁が剥落。仙台正教会所属の福島県いわき市居住の 2 家族は福島原発 30 キロ圏外で今の所問題無し。10 キロ圏内の大熊町に居住していた小山家とは連絡が取れないが、親族宅に避難との未確認情報有り。

(6) 石巻正教会

4 月 6 日朝、行方不明者 1 名 (アンドレイ米里公良) の遺体が確認される。長男のフェオドシイ創は依然行方不明。

4 月 5 日、管轄内信徒及び仙台正教会信徒 25 名により境内地の清掃と整備作業を実施。

(7) 涌谷正教会

行方不明だったモイセイ中川五代治の遺体を発見・確認。先に死亡が確認されている妻ソフィヤ中川つね子とも埋葬式の日程は未定。

各教会の被災地での復興事業は始められているが、長期間にわたることが予想されます。またこの地震の終息も予想がつきません。4 月 13 日に開催予定の宗務総局会議において、被災地の信者と教会への救援活動と復興の方針が決定されることと思います。事案によっては速やかな対応が求められます。皆様方の一層のご支援をお願いいたします。